

「テーマ3」：学校と地域が連携・協働して行う「ふるさと中川学（仮称）」
～どうすれば子ども達にワクワクした学びや、リアルな体験を提供できるか？～

<5つのテーマで協議>

- ① 地域の人と出会い、人生に触れる、中川版キャリア教育をどのように実践するか
(例えば、現在はキャリアフォーラムという場があり、村内で様々な仕事をされている人達と中学生、小学生が出会う機会を持っている)
 - ② 「ふるさと中川学（仮称）」を授業や学校行事を使ってどのように実践するか
(生活科や総合的な学習の時間、フリーラーニングなど、地域の人達がサポーターになったり講師になったりする学びとして、どのように実現していけるか)
 - ③ 「ふるさと中川学（仮称）」を課外活動とどのように連携させるか
(子ども達の放課後や休日、長期休業をどのように豊かにしていけるか)
 - ④ 美味しい野菜・果物やそれを産み出す農業があることをどう活かすか
(地産地消を進めている給食など、食育としても結びつけていけるか)
 - ⑤ 地域の行事や文化を子ども達にどのように継承し担い手になってもらうか
(地区行事をやめるところも出てきている。また、子ども達の意識としてスポーツクラブや部活動が優先される傾向もある)
-

これらを実現していくためには、学校・地域・行政が連携・協働して実践していくことが求められます。学校ができること、地域ができること、行政ができることを意見交換しながら、実現に向けて具体的な方法の解像度を高めていきます。

- ◆本日は5つのテーマで、各テーマの実践に向けたアイデアや課題などについて自由に意見交換します。ラウンド1は事前調査で希望されたテーマからスタートします。ラウンド2、ラウンド3はテーマを替えていただいても結構ですし、そのまま同じテーマで続けていただいても結構です。
- ◆皆さんそれぞれの視点でアイデアや課題など持ちよっていただいていると思います。余すところなく出していただけるようお願いいたします。